

都市・ひと・自然を考える
10月4日は都市ビル環境の日



都市ビル環境の日

2015年(第21回)のテーマ

水環境とこれからのビルメンテナンス業

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会



公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 会長
金子 誠

健全な水環境保全を目指す 取り組みへ

本年で第21回を迎えます『都市ビル環境の日』行事が、福岡県をはじめ福岡市・北九州市等のご後援を賜り、また会員企業と協力関係団体の多大のご支援を頂いて開催されますことに深甚なる感謝を申し上げます。

今回は全県下における「クリーンアップ福岡」奉仕清掃を終えた後、いままで福岡市で開催していました「記念シンポジウム」行事拠点を初めて北九州市へ移して催します。都市公害を克服して、いまや環境都市の最先端を走る当市でのシンポジウム開催には深い意義を感じるものであります。テーマを「水環境とこれからのビルメンテナンス業」と設定し、都市における給排水保全のインフラ適正管理を検証しようとするものです。福岡市は昭和53年から54年にかけて一年間にも及ぶ大渇水を経験しました。生活用水の枯渇が都市機能に大きなダメージを与えることをビルメンテナンス業は身をもって体験したことです。またその一方、県下（福岡市・北九州市・久留米市・飯塚市等）の各地区では、市街地の集中豪雨災害にも見舞われました。その被災時には、わたしたちビルメンテナンスは飲料水供給の復旧と確保に不眠不休で当たりました。それを契機に県といわゆる“防災協定”を締結するに至ったのです。都市生活の生命線である水資源の最適保全を建築物施設管理の視点から考えたいと思います。

当日は午前中の「クリーンアップ福岡」美化活動で汗をかいていただいた後ですが、「水環境館」へ是非多くのご来場をいただき、快適な都市環境づくりの担い手としての連帯を深めていただければ幸いに存じます。



福岡県知事
小川 洋

快適で住みよい街づくりに つながることを期待します

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、昭和54年の設立以来、建築物における衛生的で快適な生活環境の確保を目指し、作業従事者の資質向上のための教育・研修事業や広報活動などを通じ、快適な環境づくりにご尽力いただき、深く感謝いたします。

毎年10月4日の「都市ビル環境の日」に開催される本記念行事では、シンポジウムや子ども絵画コンクールの開催、県内各地で行われる清掃美化活動「クリーンアップ福岡」の実施など、県民の建築物環境衛生の意識向上のために幅広く取り組んでいただいています。本年のシンポジウムのテーマ「水環境とこれからのビルメンテナンス業」は、県民の皆さまが安全で衛生的な水環境に対する意識を高める上で、大変有意義なテーマであると考えています。

経済の発展に伴い、大規模な建築物が増加した現代においては、多くの施設で貯水槽や輸送ポンプを経由して飲料水が供給されています。多くの人々が使用する飲料水の安全と安心を確保するためには、ビルメンテナンス業に携わる皆さまの高い技術力と豊富な経験が不可欠であり、貴協会の活動は極めて重要で意義のあるものと考えています。

県としても、建築物やその設備が適正に管理され、利用者である県民の皆さまが安心して快適に暮らせる社会づくりを目指しています。今後とも、貴協会のご協力をよろしくお願いいたします。

本年行われるさまざまな行事を通じて、環境衛生に対する県民の皆さまの意識がいつそう高まり、快適で住みよい街づくりにつながることを期待するとともに、記念行事のご成功と貴協会の今後ますますのご発展、会員の皆さまのご活躍を心から祈念いたします。



福岡市長
高島 宗一郎

まちづくりのパートナーとして 皆様のご支援をお願いします

「都市ビル環境の日」記念行事が今年も盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、建築物の環境衛生を確保するため、日頃からその知識や技術の研鑽、関連団体の指導育成等にご尽力いただいております。深く敬意を表します。また、美化運動など県内各地でのボランティア活動を通じて、快適で住みよいまちづくりに御貢献いただいていることに厚くお礼申し上げます。

本日行われる行事を通じて、環境衛生に対する市民の意識が深まるとともに、貴協会の活動が広く発信されることを願っております。

さて、美しい都市景観や歴史と文化の記憶を留めた建物群は、重要な都市の魅力の一つです。福岡市では、国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」の取組みのなかで、航空法の高さ制限の特例が認められ、天神明治通り地区（約17ha）について、67mとされている高さ基準よりも9m高い、最大76mのビルを建てるのが可能となりました。このような天神地区の再開発など、国内外の人を引き付ける魅力的なまちづくりを進めていくには、建築物の安全で快適な環境づくりに奔走される皆様のお力が欠かせません。福岡市を次のステージへと押し上げるチャレンジ、「FUKUOKA NEXT」を推進するため、福岡のまちづくりのパートナーとして、引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますの御発展と会員の皆様のご健勝、御活躍を心からお祈りいたします。



北九州市長
北橋 健治

住みよい街づくりに向けた 取り組みの拡大に期待します

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、日頃から、建築物の衛生的で快適な環境と安全性を確保するため、ビルの維持管理業務を行い、技術や知識の向上に努められるとともに、地域の環境衛生の改善にご尽力いただいていることに、深く感謝申し上げます。

今年度の「都市ビル環境の日」では、都市の美化運動「クリーンアップ福岡」とあわせて、「水環境とこれからのビルメンテナンス業」をテーマとするシンポジウムが開催されると伺っています。街の美化や水の有効活用などへの関心・知識を深める機会となるとともに、人が快適に過ごせる住みよい街づくりに向けた取り組みの輪が広がることを期待しています。

さて、本市では、今年7月に「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとして官営八幡製鐵所関連施設が世界文化遺産に登録されました。百年以上の歴史を経た建築物が現存していることは、市民にとって大きな誇りであり、日頃の建築物の手入れや管理の大切さを改めて気づかせてくれます。

今後とも本市では、誰もが安心して暮らせる快適な住環境の実現のため、良好な住宅整備などを進めるとともに、市民の主体的な参加による計画や、ルールづくり、まちづくり支援を進めてまいりますので、引き続き、貴協会の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。



10月4日 「都市ビル環境の日」 設定趣旨

コミュニティの快適な環境創造をめざして

For a comfortable environmental creation of the community

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは、巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の間としての事務所ビル、生活の間としての高層住宅ビル、余暇の間としての興業場ビル、健康回復の間としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全かつ衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸いにして自然と身近に接する環境に恵まれています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりを積極的にアピールしていきます。



水環境とこれからのビルメンテナンス業

都市化の進展に伴い、都市の形態及び生活様式は著しく変貌しています。

昭和45年に制定された「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」においては、建築物維持管理に関し公衆衛生の向上及び増進に資することを目的としており、近年、衛生的で快適な生活環境の確保と同時に一層の付随した環境問題、省エネ対策など地球環境に配慮した関心が高まり、私たち建築物の環境衛生を取り巻く業界も大きく変化してきました。

こうした都市環境の中で、水は都市とともにビルにとっても極めて重要なインフラストラクチャーのひとつです。ビルメンテナンス業においては水に携わる業務が多く、これからの水に関する環境問題を建築物関係者や施設利用者の皆様と共に考えていきたいと思えます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会では、公益法人としての立場で、あらゆるビル管理目線から水環境問題に関して、私たちが如何に社会に貢献することができるか、尚且つ、時代に即した求められるビルメンテナンス業はどうあるべきかを考えることにより、皆様方の縁の下の力持ち的存在として情報を発信してまいります。

プログラム



■ 日 時 平成27年10月2日(金) 15:00～17:00

■ 会 場 水環境館 多目的ホール (北九州市小倉北区船場町1-2)

14:30	受付開始	
15:00	開会挨拶	公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 会長 金子 誠
15:05	来賓挨拶	福岡県知事 小川 洋 福岡市長 高島宗一郎 北九州市長 北橋 健治
15:15	第8回子ども絵画コンクール入選作品発表	
15:25	特別講話	演題「北九州市の水・環境国際政策」 北九州市環境局 環境国際戦略部 環境国際戦略課 企画調整係長 金子 滋夫
15:55	基調講演	テーマ「水まわり設備の進化と課題」 公立大学法人 福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授 豊貞佳奈子
16:55	閉会挨拶	公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 副会長 古賀 修

〈テーマ〉 水まわり設備の進化と課題

節水は水資源保全だけでなく、上下水道や建物内給水ポンプ等の動力削減に直結し、節電やCO₂削減に繋がります。

節水技術をはじめ、便器、水栓金具など水まわり設備の性能進化は著しく、建物設計や管理への影響も少なくありません。

水まわり設備の最新技術と今後の課題について、海外の話題も交えてお話しします。



講 師

公立大学法人 福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科

准教授 豊貞 佳奈子

◎講師プロフィール

博士（工学）。一級建築士。専門は建築設備工学、環境影響評価。
1994年TOTO（株）入社。節水によるCO₂削減効果の定量化等、環境研究を担当し、同研究で空気調和・衛生工学会の2011年度篠原記念賞受賞。
2012年同社環境研究グループリーダー、2014年研究担当部長を経て、2015年4月より現職。

クリーンアップ福岡

日 時 平成27年10月2日（金） 9：30～11：00

会 場 福岡県内主要都市中心部及び会員受託物件の周辺公共施設の清掃及びゴミ収集等を実施

※福岡市内においては、大博通り沿線を実施予定

第8回子ども絵画コンクール

作品展示期間・展示場所

北九州地区

期間：平成27年10月1日（木）～ 10月7日（水）

場所：水環境館 展示コーナー（北九州市小倉北区船場町1-2）

福岡地区

期間：平成27年10月10日（土）～ 10月14日（水）

場所：あいれふコミュニティプラザ（福岡市中央区舞鶴2丁目5-1）

久留米地区

期間：平成27年10月19日（月）～ 10月28日（水）

場所：久留米市役所2階 ホワイエ（久留米市城南町15-3）

「クリーンアップ福岡」に参集!



福岡

都市ビル環境の日部会

吉次 正利 吉次商事株式会社

昨年は第20回ということもあり、大々的に「都市ビル環境の日20周年記念フェア」を開催いたしました。「クリーンアップ福岡」も、その前日に開催され、晴天の中、無事終了いたしました。ご協力をいただきました会員及び賛助会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

21回目の今年は、新たな気持ちで取り組んでまいります。

「都市ビル環境の日」シンポジウムは、開催地を福岡市から北九州市へ移し、小倉北区の「水環境館」において10月2日(金)の15時から開催いたします。テーマは「水環境とこれからのビルメンテナンス業」です。過去、北九州市を代表する紫川は工業用水などで汚れていました。北九州市はこれを見事に、魚の棲めるキレイな河川へと変貌させました。この環境都市としての北九州市を舞台に、水に関わる業務が多いビルメンテナンス業が抱える様々な水環境問題を、今後どのように解決していくのかを皆様とともに考えていきます。皆様のたくさんのご参加をお待ちしております。特に北九州市及びその周辺の会員ならびに賛助会員の皆様は初めてのご当地開催となりますので、奮ってご参加の程よろしくお願ひ申し上げます。

「クリーンアップ福岡」に関しましても、新たな取り組みに挑戦してまいります。福岡市の開催場所は例年ですと、アクロス福岡前の天神中央公園に集合し、中洲～出会い橋周辺の清掃活動が中心でした。今年は場所を変えて、10月2日(金)に博多区上川端町にある旧冷泉小学校に集合し、大博通りを博多駅方面～サンパレス方面へと二手に分かれて大々的に清掃活動を行います。公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の看板事業である「クリーンアップ福岡」を、人目につきやすい所で行うことによって一般市民への認知度を高め、ビルメンテナンス業界のイメージアップに繋げて参ります。

以上のような、新しい取り組みに是非ともご理解をいただき、会員及び賛助会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

※写真はいずれも2014年10月3日実施分



北九州



太宰府



行橋



飯塚



田川



久留米



大牟田



大川



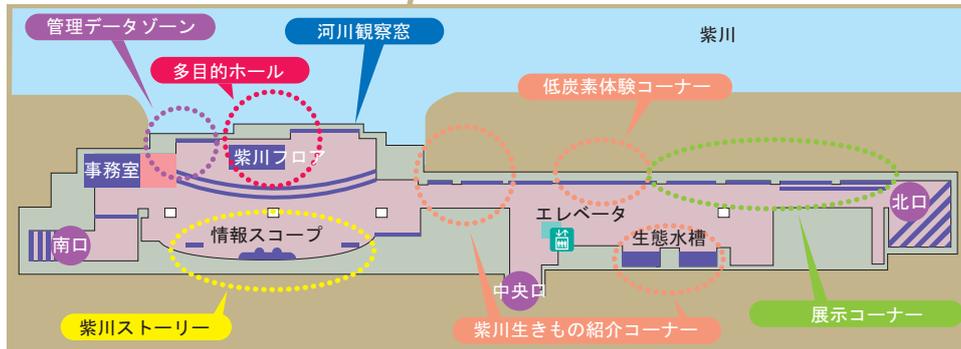
朝倉

会場

水環境館 多目的ホール

北九州市小倉北区船場町1-2

TEL. (093) 551-3011



主催

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階

TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432

後援

福岡県

協賛

公益財団法人日本建築衛生管理教育センター

一般社団法人福岡県警備業協会

公益社団法人福岡県産業廃棄物協会

公益社団法人福岡県建築士会

一般社団法人マンション管理業協会九州支部

一般社団法人全国管洗浄協会

一般社団法人西日本飲料水管理協会

福岡県管工事業協同組合連合会

一般社団法人福岡県ペストコントロール協会

九州ガラス外装クリーニング協会